

平成24年度「学生自主企画研究発表会」が開催されました。

平成25年1月23日（水）に、本年度で6年目となる「学生自主企画研究」の発表会が開催され、助成対象となった10グループによる熱のこもった研究成果発表が行われました。

各グループメンバーの発表は、8ヶ月間の研究を通じた成長が感じられる、レベルの高いものでした。

発表会には学生・教職員延べ88名が参加し、熱心な質疑が交わされるとともに、発表会終了後には教職員も交えた交流会が行われました。交流会では後援会の支援を得てお茶とお菓子が用意され、くつろいだ雰囲気の中で学生と教職員が意見交換する貴重な時間となりました。

また、昨年度に引き続き、参加者の投票により金賞・銀賞・銅賞を選定しました。金賞には加藤華さん（国語国文学科）のグループ、銀賞には倉知真由美さん（歴史文化学科）、加茂友望さん（看護学科）のグループが選ばれ、辻教育研究センター長から副賞の図書カードが授与されました。他の7グループは銅賞を受賞しました。

（発表グループ一覧）

	代表者	研究テーマ
金賞	加藤 華 (国語国文学科)	愛知県立大学所蔵「本朝月鑑」の解読
銀賞	倉知 真由美 (歴史文化学科)	弓張山系と中世社会—文化遺産の発見と創造—
銀賞	加茂 友望 (看護学科)	培養細胞を用いたアトピー症状によるアレルギー性サイトカインを指標とした症状改善物質の探索
銅賞	阿部 貴子 (中国学科)	災害時の外国人向け支援についての提案
銅賞	眞野 綾 (ヨーロッパ学科)	外国籍児童とその保護者への日本語学習支援及び情報提供
銅賞	神谷 沙樹 (国際関係学科)	「やさしい日本語」を用いた地域外国人への情報伝達方法に関する実践的研究
銅賞	澤井 祥子 (社会福祉学科)	学生出版の在り方と可能性—学生団体、出版企業を通して—
銅賞	安藤 駿 (歴史文化学科)	現代における若者の社会化—若者と労働を接続するもの—
銅賞	水野 みち代 (人間発達学研究科)	発達障害研修講座を通して見た、地域の保育・教育の課題
銅賞	三尾 由紀 (人間発達学研究科)	新生児集中ケア看護教育における家族ケアの視点に関する考察—看護師と医療ソーシャルワーカーの視点を比較する—



（授賞式の様子）

学生自主企画研究の募集は毎年度行われています。

8ヶ月間の研究を通して、疑問の解決、新しい視野の獲得、地域への提言など目に見える研究成果だけでなく、研究仲間とのかけがえのない絆、人前で効果的にプレゼンするスキルなど、多くのことを得ることができます。あなたもチャレンジしてみませんか！（来年度の募集については、4月中旬に掲示などでお知らせする予定です。）